

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
基礎看護学方法論Ⅲ	2年次 後期	必修	講義	1単位(30時間)	星 翔子 ※
授 業 概 要					
対象の健康状態を、より客観的に把握するための知識と技術を身につけるため、1年次に学んだバイタルサインと観察を発展させた内容を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 基本的な血液・生化学検査の項目と意味を述べる。 2. 検査を受ける対象に必要な看護を述べる。 3. 基本的な器官系統についてフィジカルアセスメントを行う。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-4	1. 検査とは 1) 検体検査と生体検査 2) 尿検査 3) 血液検査				小菅 優子 ※
5-10	2. 検査と看護 1) 検査時の看護師の役割 2) 採血 ①採血の基礎知識 ②安全・安楽な採血の方法 ③採血の実際 計画 実施 評価				星 翔子 ※
11	3. フィジカルアセスメント 1) 看護におけるフィジカルアセスメントの意義 2) フィジカルアセスメントに用いる技術 ①問診 ②視診 ③触診 ④打診 ⑤聴診				
12-15	3) フィジカルアセスメントの実際 呼吸器系 循環器系 消化器系 筋・骨格系 神経系				
学 習 方 法					
講義、学内演習、グループワークによって学習の到達を目指す。講義内容の暗記ではなく、自ら学習して理解することに留意する。学内演習ではポイントを押さえて技術を実施できるよう、練習をして臨む。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験、小テスト、技術試験					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 編集 深井喜代子 メヂカルフレンド社 フィジカルアセスメントガイドブック 目と手と耳でここまでわかる 山内豊明 医学書院 検査値 早わかりガイド 江口正信 他 医学芸術社 写真でわかる 実習で使える看護技術 アドバンス 編著 吉田みつ子 本庄恵子 インターメディカ 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 監修 川島みどり 医学書院					